

【シングルス大会における新型コロナウイルス感染防止対策について】

長崎県高等学校体育連盟ソフトテニス専門部

※シングルス大会は、無観客試合と致します。

【参加者・応援者について】

- ① 試合会場に入場できる参加者は、選手・顧問（監督）・大会関係者・補助員のみとする。
- ② ①以外の入場者は、外部指導者1名まで可とする。
※応援生徒、保護者、卒業生、3年生、中学生および一般の応援者の入場は不可とする。
- ③ 顧問は、生徒に「参加書面並びに参加承諾書」（別紙1）を配付し提出してもらう。
※当日の体調不良者は大会への参加を認めない。
- ④ 外部指導者は、「参加書面」（別紙2）を大会当日、各校の顧問へ提出すること。
※当日の体調不良者は会場への入場を認めない。
（③、④の書面は顧問が取りまとめて、朝の受付時に参加負担金と一緒に提出する。）
- ⑤ 顧問は、「参加書面」（別紙3）を、大会当日、本部へ提出すること。
※別紙1・2・3については後日ホームページにアップします。

【基本的な感染症対策】

- ① 試合中以外はマスク着用を原則とする。
ただし、高温多湿の環境下でのマスク着用は、熱中症のリスクが高くなるため、屋外で人と十分な距離（2m以上）が確保できる場合には、マスクを外してよい。
- ② トイレに並ぶ場合は十分な距離（2m以上）を空けること。
- ③ 試合をしていない時は、自陣に「密」を避けて待機すること。
- ④ 三つの密「密閉・密集・密接」の回避や、「人と人との距離の確保」「手洗いなどの手指消毒」をはじめとした基本的な感染防止対策、こまめな水分補給や日傘・帽子の使用など熱中症対策を各自しっかり行うこと。

【試合について】

- ① 開・閉会式は行わず、表彰式のみ行う。
- ② 試合中の選手と審判はマスクを外すこと。
- ③ 自陣のサイドのベンチに一番近い入口から入場・退場し、入口に設置された手指消毒液で消毒を行うこと。
- ④ 試合開始前の挨拶、トスおよび試合後の挨拶はネットから1m以上離れて行うこと。
また試合後の選手間での握手、勝者サインも禁止とする。
- ⑤ 試合中の水分補給は、チェンジサービス時も認める。（ファイナルゲームは認めない。）
ただし、ベンチには戻らず、審判台の下に水筒等を置き、その場で水分を補給すること。
- ⑥ 試合開始前、終了のたびに、こまめな手洗い・うがい等を行うこと。

【当日、生徒に発熱等の症状がみられる場合の対応】

- ① 発熱等の症状がみられる場合は、大会出場を認めないでください。
- ② 当日、急に症状が出た場合は、保護者及び各学校の管理職に連絡し帰宅させてください。
- ③ 体調不良の選手の健康状況については、引率者から専門委員長に報告してください。
専門委員長は大会運営に支障がある場合には、その結果を県高体連に報告します。
- ④ 引率者は、他の選手等の健康観察を徹底してください。

【その他】

- ① 感染防止のために連盟が決めた措置を遵守し、その指示に従うこと。
- ② 上記を遵守できない場合には参加を取り消したり、途中退場を求めたりすることがある。
- ③ 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、指導者もしくは参加校から専門委員長に報告すること。
- ④ 本大会参加者に感染が判明した場合には、参加者名簿を関係機関に公表する場合がある。